

京都オリジナル酒米「祝」の高品質化を目指して

「京都の米で京都の酒を」を合言葉に、京都府の独自色を活かした日本酒づくりを支援するため、「祝」の高品質栽培に取り組んでいます。

本年は、現在維持している「祝」の原々種系統の中から大粒で屑米が少ないことから有望とした系統の現地適応性を見るとともに、本系統を母本とした原々種生産を実施しています。

今後、本系統を生産現場へ供給していくことにより、収量の向上と高品質化を図っていきます。



原々種の収穫の様子